

# 平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	民生委員児童委員活動推進事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	01	04
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	民生委員児童委員	意図	県へ民生委員児童委員候補者の推薦を行い、またその活動費を支給し、民生委員児童委員の充実・支援をすることにより、以って地域福祉の向上を図る
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員児童委員候補者を県へ推薦する民生委員推薦会の開催</li> <li>民生委員児童委員の費用弁償的な活動費の支給</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	昭和3年から全国に民生委員制度がある。市区町村、都道府県、指定都市、全国といった民生委員児童委員のネットワークをつくり、情報の交換をおこなっている。 近年は、民生委員・児童委員のなり手が見つからず欠員区域がある。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	まちぐるみの福祉ができていると思う市民の割合	41.20			
②	民生委員児童委員充足率	89.60	95	95	%	↑↑↑	委嘱人数÷定数×100
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・民生委員児童委員の事務量が増えており、大変であるというイメージが先行し、なり手が見つからず、欠員となっている地区がある ・民生委員児童委員は、年齢制限・定年があるが、高齢化社会の現代にそぐわない。高齢でも元気でボランティア活動に意欲的な人は多い。
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,545,770	7,613,815	7,613,950			
事業費(b)(円)		7,545,770	7,613,815	7,613,950			
うち一般財源		7,545,770	7,613,815	7,613,950			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	民生委員児童委員の1人当たりの事務量を軽減するため、欠員地区の解消に努める	③取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き欠員の解消に努める</li> <li>民生委員児童委員の事務量が増加している</li> </ul>
②今年度(H24)に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>欠員地区の補充に取り組んだ。</li> <li>民生委員推薦準備会を設置し、25年度の一斉改選に向けた候補者推薦準備に取り組んだ。</li> </ul>	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>推薦準備会の協力を得ながら引き続き欠員解消に努める</li> <li>民生委員児童委員の事務量が増加しているため、事務内容の調査を行う</li> </ul>